

令和3年度 大田区立洗足池小学校 学校経営方針（概要）

おおた教育ビジョン「豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる」

【めざす学校像】

- 一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする学校

【本校の教育目標】

- ◎考える子
- 思いやる子
- 元気な子
- ◎やりぬく子

【めざす児童像】

- 課題を自ら発見し、習得した知識や技能を活用して進んで解決しようとする児童
- 豊かなコミュニケーションをもとにチームで協働して粘り強く取り組むことができる児童
- 自ら人権感覚を磨いていこうとする児童

【教育目標実現に向けた学校経営の視点と関連する教育目標】

【視点① 学級経営の充実】

学習指導や健全育成は、だれにでも居心地のよい学級集団作りが基盤となり達成できるものであることから、学級担任だけでなく、組織を挙げて学級経営の充実を図る。
「考える子」「思いやる子」「やりぬく子」

【視点② 個別最適な学びの実現】

指導方法や指導体制の工夫改善により、「個に応じた指導」の充実を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。
「考える子」「元気な子」

【視点③ 組織的な健全育成】

いじめや不登校など多様化する児童の健全育成上の課題に対する理解を深め、学校全体を通して、人権を尊重し合える人間関係づくりやより高い人権感覚を醸成していく。
「思いやる子」「元気な子」「やりぬく子」

【視点①に対する取組】

- ✓ 学級目標を年度初めに設定し、キャリアパスポートを活用しながら学期ごとに振り返りを実施します。
- ✓ 3年生以上は年2回 QU アンケートを実施し、実施後に学年ごとで、現状に即した学級経営推進の手立てを検討し、学級経営の充実を図ります。
- ✓ QU アンケートの結果は、専科教員と共有し、学級経営の状況を共有します。
- ✓ 児童一人一人が自身の役割をやり遂げることができる機会を意図的に作ります。

【視点②に対する取組】

- ✓ 学力調査等のアセスメントを生かし児童一人一人の学習の状況を見極め、学年主体で十分に分析して授業を計画します。
- ✓ 算数では全学年習熟度別少人数指導を行い、学習状況に応じた指導を徹底します。
- ✓ 指導の個別化、学習の個性化、協働的な学びを推進するために、タブレットパソコンを活用した授業を毎日実施します。
- ✓ 感染防止対策を徹底しつつ、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、授業の中で協働的な学びを位置付けます。

【視点③に対する取組】

- ✓ 「いじめは絶対に許さない」という強い気持ちを育成するために「特別の教科 道徳」において、いじめを題材にした授業を必ず全学級実施します。
- ✓ 教員自身の人権意識を高めるために、各学期に人権研修を実施するとともに、児童に対する呼名を「さん」で統一します。
- ✓ いじめ・不登校防止対策委員会で未然防止、効果的な初期対応に努め、状況に応じて、適宜ケース会議を実施するとともに、関係諸機関との綿密な連携を図ります。